

フェンスウォール® シリーズ

竹害防止工法

竹の根の越境を防止

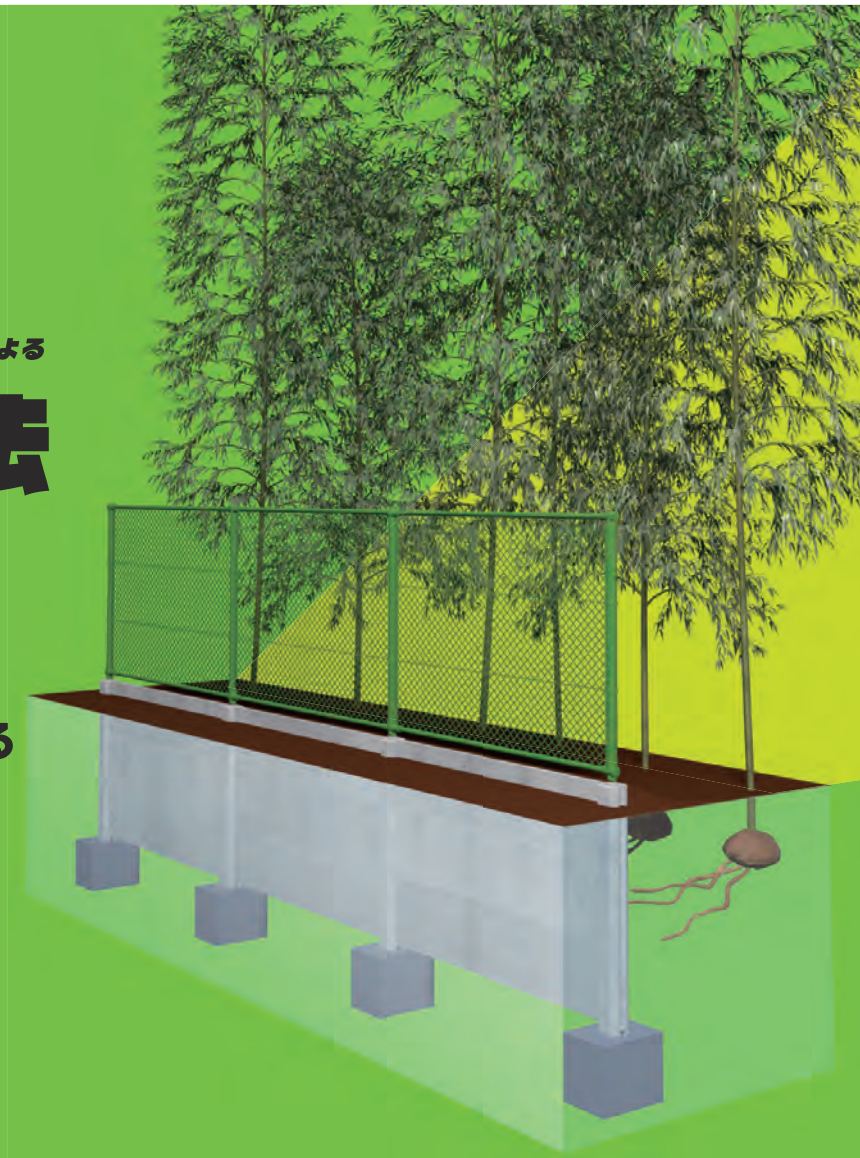
竹害から敷地を守る
地中に堀を構築する



フェンスウォールシリーズによる 竹害防止工法

「厄介な竹の根の侵入は、
フェンスウォールで対策」

地中の堀で竹の根を止める
竹害トラブルを解決
簡単施工で低コスト



地中の堀で 竹の根侵入防止

竹は春先から夏にかけてものすごいスピードで成長します。一説には一日に1メートル成長するともいわれ、地上の竹をどれだけ伐採したとしても地下の地下茎を取り除かない限り生息域を伸ばし続けます。厄介な竹の根の侵入は、フェンスウォールで対策しましょう。

最大地中深さ1m 地中で竹害対策

竹の種類によって違いはありますが、他の樹木とは違い竹は地上から浅い場所で根を伸ばします。フェンスウォールを通常の堀としてではなく、より下の地下に設置し【地中にコンクリートの壁】を構築する方法をおすすめしています。



Fencewall

フェンスウォール®

共通施工手順解説

注意事項があります。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。



柱を建てる為の穴を掘る



柱を建て、柱と柱の間隔を正確に測る



コンクリートを流し込み柱を根固めします



必要な柱をすべて設置する



設置した柱と柱の間に土圧板を差込み、板目地を打つ



重機を使用する事によってより楽に施工が出来ます



柱と土圧板の継ぎ目（縦目地）を埋めていきます



フェンスウォールの施工完了

フェンスウォールシリーズによる

竹害防止工法施工例

最新の施工例は
こちらのQRコードから →
ウェブサイトをご覧ください



【フラット】竹害対策 施工前の様子



【フラット】竹害対策 施工前の様子



【フラット】竹害対策 施工途中



【フラット】竹害対策 施工完了



【フラット】竹害対策 施工途中



【フラット】竹害対策 施工途中

Fencewall Flat 製品図面

フェンスウォール® フラット

土圧板 長さ2種類

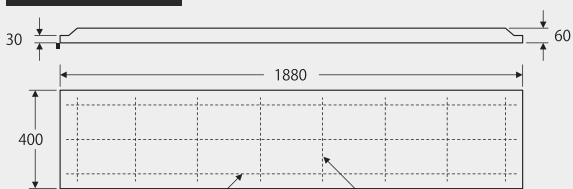


土圧板 880 約51kg
1SP=1メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 4本

土圧板 1880 約103kg
1SP=2メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 8本

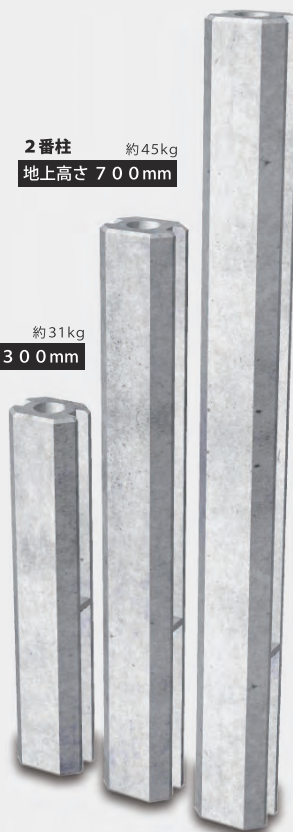
※ この他に土圧の掛からない場所用に厚さ30mmの柵板があります

柱 地上高さ3種類 及び 形状5種類

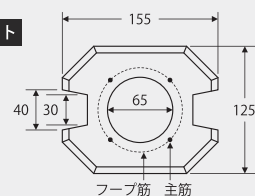
3番柱 約59kg
地上高さ 1100mm

2番柱 約45kg
地上高さ 700mm

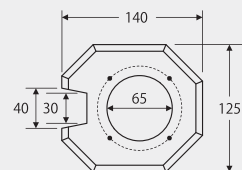
1番柱 約31kg
地上高さ 300mm



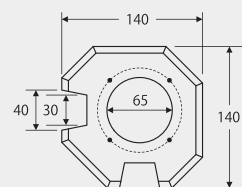
ストレート



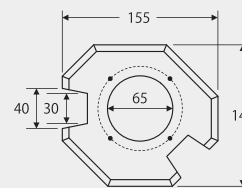
エンド



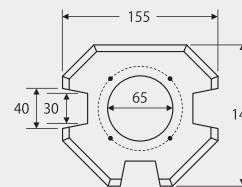
90°



135°



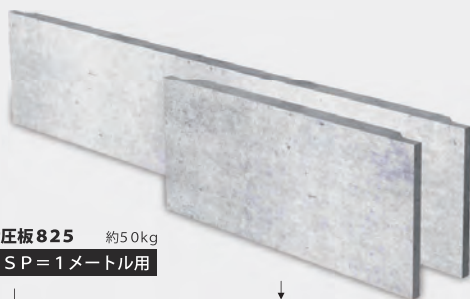
T字



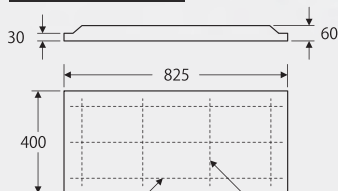
Fencewall WIDE 製品図面

フェンスウォール® ワイド

耐圧板 長さ2種類

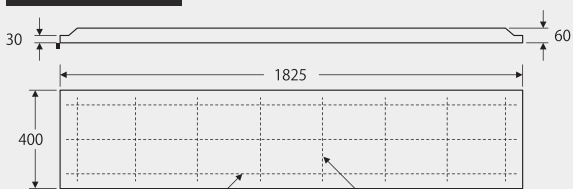


耐圧板 825 約50kg
1SP=1メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 4本

耐圧板 1825 約100kg
1SP=2メートル用



a鉄筋 径3.2mm 3本 b鉄筋 径3.2mm 8本

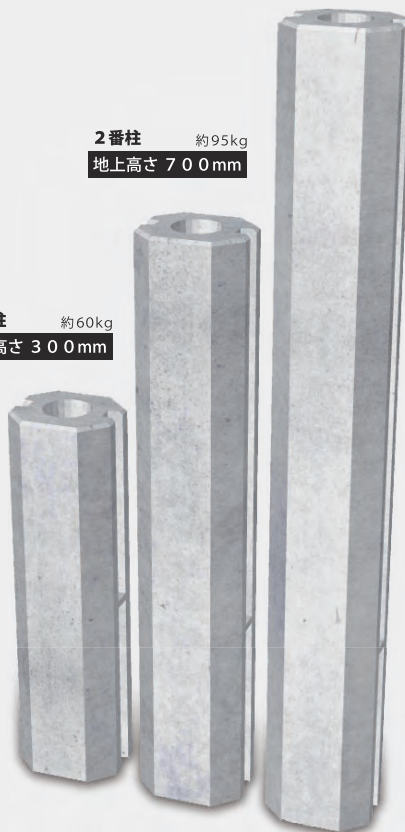
※ この他に土圧の掛からない場所用に厚さ30mmの柵板があります

柱 地上高さ3種類 及び 形状5種類

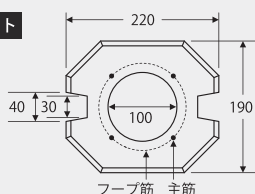
3番柱 約131kg
地上高さ 1100mm

2番柱 約95kg
地上高さ 700mm

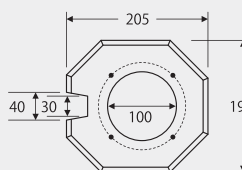
1番柱 約60kg
地上高さ 300mm



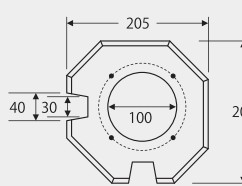
ストレート



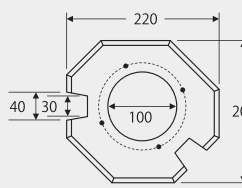
エンド



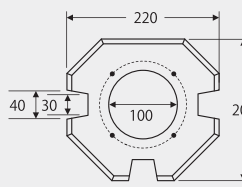
90°



135°



T字





アルミフェンス が設置可能

フェンスウォールシリーズの柱上部にはフェンス設置用の穴があり、土留めとフェンス工事が同時に行えます。



柱を建てる 板を差し込む

フェンスウォール共通の施工方法は、「柱」を建てて、「板」を差し込むという分かり易いシンプルな設計。



土圧性能判定書 耐震計算書完備

フェンスウォールは社内性能試験を経て専門家による構造計算を行い、耐震計算書も完備しています。

フェンスウォールシリーズによる

竹害防止工法施工例

最新の施工例は
こちらのQRコードから →
ウェブサイトをご覧ください



【ワイド】1番 1スパンを1mで施工



【フラット】2番 1スパンを1mで施工



【フラット】2番 1スパンを2mで施工 メッシュフェンスを設置



【フラット】2番で地上高さ70cm



【フラット】1番 1スパンを2mで施工



【フラット】2番 1スパンを2mで施工

組立図寸法表

フラット・ワイド共通

柱の種類	地上高さ	柱の地中埋込	柱の全長	柵板枚数
1番柱	300mm	500mm	800mm	1枚(1段)
2番柱	700mm	500mm	1200mm	2枚(2段)
3番柱	1100mm	500mm	1600mm	3枚(3段)

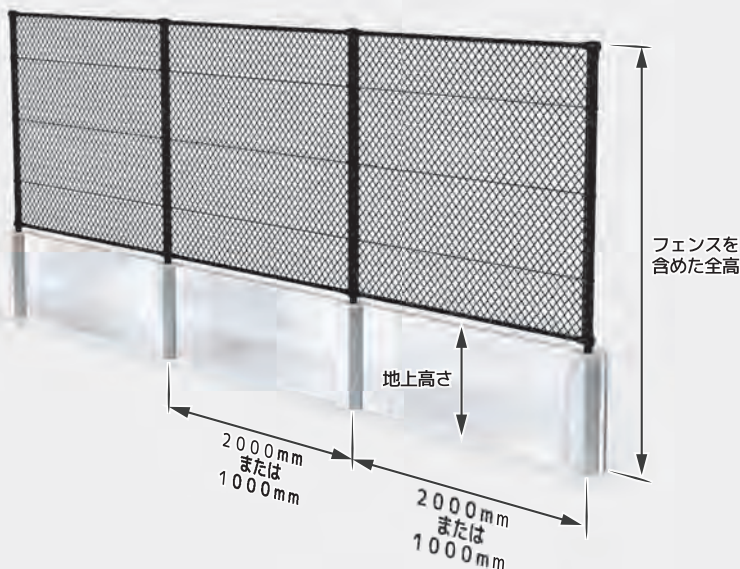
- ※ 柵板と柵板の目地は5mmとする。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板・耐圧板」を使用して下さい。
- ※ 1スパンが2m・1mではない場合は柵板を切り詰めてご使用下さい。
- ※ 切り詰める場合の寸法は「フラット」と「ワイド」で異なります。

取扱説明書をよくご覧下さい。

フェンスを含めた最大高さ

種類	フェンスを含めた最大高さ
フラット	～2000mmまで
ワイド	～2500mmまで

※ 根固めコンクリート寸法を順守する事。

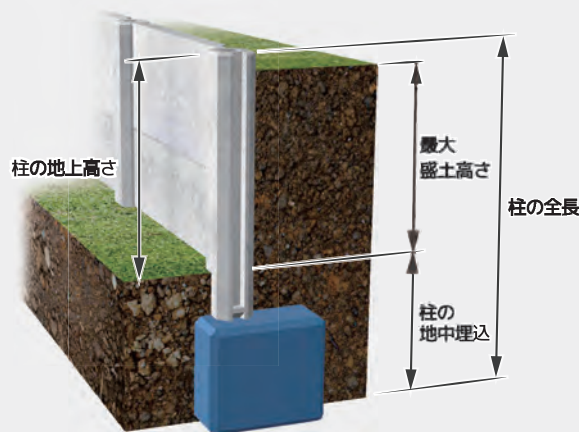


土留め施工の盛土高さ

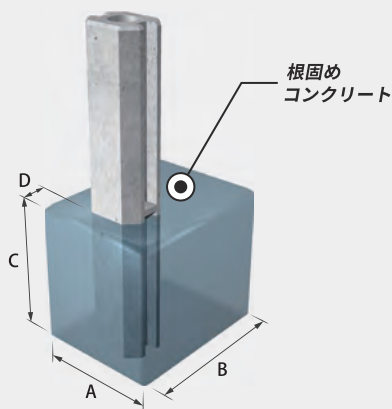
フラット・ワイド共通

柱の種類	柱の全長	柱の地上高さ	最大盛土高さ	柱の地中埋込
1番柱	800mm	300mm	300mm	500mm
2番柱	1200mm	700mm	600mm	500mm
3番柱	1600mm	1100mm	1000mm	500mm

- ※ 施工後、盛土側に過度な加重（重機転圧・車両走行）を加えないで下さい。
- ※ 土留め施工の場合は必ず「土圧板・耐圧板」を使用して下さい。
- ※ より強固な土留め施工をする場合は1スパンを1メートルにして下さい。
- ※ あくまで目安となります。



根固めコンクリート寸法



種類	全高	A	B	C	D
フラット	～2000mm	310mm	400mm	350mm	50mm
ワイド	～2500mm	310mm	400mm	350mm	50mm

- ※ 全高とは上部に設置するフェンスを含めた高さです。
- ※ 3番柱での土留め施工の場合は寸法が変わります、詳しくはお問い合わせ下さい。

仕様書

土圧性能判定書

土圧に対する性能判定を行い書類としてまとめました。全5種類のバリエーションにおいて検証しています。



耐震計算書

専門家へ依頼して耐震計算を作成しています。耐震化工事等で地震に強い事が証明出来ますので安心してご使用下さい。



取扱説明書（フラット）

輸送・保管時の注意事項や施工方法、1mスパン・2mスパン標準施工図・根固めコンクリート寸法などをまとめました。



取扱説明書（ワイド）

輸送・保管時の注意事項や施工方法、1mスパン・2mスパン標準施工図・根固めコンクリート寸法などをまとめました。



日本産業規格表示認証取得工場
都建材工業株式会社

東京都府中市是政4-31
TEL: 042-362-4521 FAX: 042-361-1385

清瀬 東京都清瀬市旭が丘6-961-1
葛飾 東京都葛飾区東堀切3-6-3
www.miyako-cm.biz

フェンスウォールの詳しい情報、
最新の施工例はウェブサイトでご覧ください

フェンスウォール

